


# 第4挿話

- テーマ
- 登場人物
- 関連事項

キーワード  (1) 第1挿話との対比 (2) 「意識の流れから隠れる事実」(3) 『ユリシーズ』における「ユダヤ的要素」(4) 植民地 아일랜드 と独立の問題 (5) ブルームの商い・貨幣経済に対する関心 (6) ブルームの身体的生理と排便の描写 (7) ブルームの動物に対する態度 (8) ブルーム家の生活空間におけるモノ (9) ブルームの科学的知識 (10) 市民生活とそこから疎外される存在 (11) 語りにおけるリズムカルな音や音韻の仕掛け (12) ホメリック・パラレル (13) 人間が食べるもの、猫が食べるもの (14) 輪廻転生のモチーフ (15) 1904年6月16日の天気 (16) 小説における糞尿・排便描写

## \*\*metempsychosis (柳瀬訳:「会者定離輪廻」)

→ "metepikehoses" (p.266)

## 排便・糞尿・排泄物

庭に肥料 (鶏の糞；牛の糞) をまいて、「豊穰」の地を考えるブルーム (p.122)

ブルーム、『ティッドピッツ』誌を読みながら、排便をする；3段半 (一段 (column) につき1ギニーの原稿料) の原稿量と排便量の対応；臓器による連関：ブルームの腎臓と排尿

## 手紙

ミリーからブルームへの手紙  
ボイルンからモリーへの手紙

## 腰の曲がった老婆

ブルームの思念「不毛の地、何一つ生えない荒地」(p.110) の直後、アップー・ドーセット通りの酒店キャンディの店から出てくる老婆；「荒廃」の主題とブルームの性的不安

## 1904年6月16日の天気

同一語句の反復による雲の描写と第1挿話との時間的対応：「雲が一つ、太陽をゆっくりと覆い始めた。」(p.110) 「雲がゆっくり動いてすっぽり覆い」(p.21) ；挿話中に挿入される天候描写の導入 (pp.101, 103, 104, 106, 108, 110, 111, 121, 124) →「そろそろ洗濯物を外へ吊るす頃だが」(p.121)

## ホメリック・パラレル

サンダル履きの足で、俺を出迎える娘、金髪を髪になびかせて (p.111)

壁に掛かった「ニンフの湯浴み」の絵；(ギ)女神カリュプソーと囚われのブルーム

「雨が降らないと、いい卵はない」(p.103)

## 隣の家の鶏



## Hugh Blazes Boylan

グレヴィル・アームズでのコンサート

ピクニックの約束

## Banon

## Coghran

## 第1挿話との「対応」

ブルームとスティーヴンの対比；母親の肝臓とブルームの臓物好き；動物 (beast) に対する扱いの違い；スティーヴンは観念的・形而上的なもの、ブルームは身体的・日常的なもの、モリーは感覚的・肉感的なものとして結びついている；スティーヴンが鍵を閉めることと、鍵を閉めないブルームの対比 → 鍵をもっていない主人公のテーマ

## ハンロン牛乳店の配達人

## 郵便屋

## Molly (Marion) Bloom

男性器のイメージ → 生殖・モリーのボイルンとの情事；口を尖らせたポット；ミルクを注ぎ込む紅茶のポット

官能的なものへの関心

Paul de Cockの本と名前

ボイルンからの手紙

ベチコート；ヘアピン；ズロース

## Milly Bloom

ブルームとモリーの娘、15歳；6月15日生まれ；マリンガーの写真店で勤務；週給12シリング6ペンス

暗闇で光るヒゲ

宝石のような緑の腫

「おバカな」猫のイメージ

伝染病と猫の実用性

白いボタンのようなお尻

ざらざらの猫の舌

ブルーム家の猫

血とミルク → コーシャー

ネズミを弄ぶ「残酷さ」

「洗濯ソーダで荒れた手」

## ウッズ家の女中

ブルームの「尻」への関心

排便

朝食の準備

猫の世話

尻のポケット

ディグナムの葬式

## Leopold Bloom

「サンドウ体操」と健康への意識

部屋の片付け

買い物

ケイベル通りの図書館への本の貸出延期

モリーとボイルンの密会についての想念

ヘングラー・サーカス団の思い出

ミリーと愛蘭号に乗船した思い出

前掛け姿のバーテン (リートリム出身？赤毛？)

## Larry O'Rouke

市の交通のちようど終点にある、立地のよい酒場を経営

## Rudy Bloom

## ブルーム家の家具や小物、ブルームの所持品

- ・ブラストウ高級帽
- ・遺失物取扱所の古物防水服
- ・ブルームのスボンとベルト
- ・厚ぼったい外套
- ・ティースプーン
- ・フォーク
- ・ティーポット
- ・蓋付きカップ (ミリーがくれた誕生日プレゼント)
- ・紅茶のコップ
- ・表戸の鍵
- ・「ティッドピッツ」の古い号
- ・緑の欠けた茹で卵入れ
- ・でこぼこしたお盆
- ・修理が必要なベッド (オークションで競り落とした嫁入り道具)
- ・オレンジの鍵模様のある室内型便器と壊れた室内型便器
- ・ブルームの書物机
- ・バター
- ・パン
- ・庭の壁隅に生えているスペアミント
- ・アンドルースの店のオリーブの実
- ・ハンロン店配達人のミルク
- ・台所のテーブル
- ・台所の湯沸かし
- ・調理用暖炉の石炭
- ・ポケットのなかのジャガイモ
- ・庭の壁隅に生えているスペアミント
- ・ハンロン店配達人のミルク
- ・台所のテーブル
- ・台所の湯沸かし
- ・調理用暖炉の石炭

## ユダヤ人・ユダヤ教・ユダヤ性

## Moses Dlugacz

コーシャー

練々の血：コインを飲み込む商人の指 (舌)

## 第4挿話の「！」と「？」

！ブルームのコップの持ち方とモリーのコップの持ち方の対比

！ "Cruelty behind it all" → 『ユリシーズ』の市民社会から疎外されるものたちへの関心 → 屠畜され、精肉される動物；ヘングラー・サーカスで労働する演芸動物

！「自治の太陽が北西より昇る」；アイルランド植民地独立の問題

！第4挿話には、映像 / 映画を喚起させる描写がある

！「コインをすばやく数える」、「聴のような目」と描写されているドルーガックは、ステレオタイプとしてのユダヤ人の吝嗇性と結びついているか？

！ハツを保存できる21世紀初頭と冷蔵庫のない20世紀初頭の台所 → 小説内の描写を歴史化して考える必要性

？この小説は、歩行と呼吸のリズムで書かれているのではないかな？

？死海のイメージは何かから来ているのか？ その歴史的背景は？

？ラストの鐘の音を、「ハイホー」にしなかったのはなぜか？ → 柳瀬尚紀『翻訳はいかにすべしか』(岩波新書、2000年) に鐘の音の描写についての説明がある。

？ブルームが「ジブラルタルから」と何度か言っているのはどういう意味もじりなのかな？

？第4挿話のテーマカラーは「茶色」(焼いた腎臓、スカブラリオ、家畜の糞、便、土壌、お茶、第1挿話のテーマカラーは「青緑色」(海、青っ漢、胆汁、ヘインズの煙草ケースの石)ではないか + 両者に共通する色は「鉛色・灰色」ではないか？

？アイルランドは喫茶の習慣として、コーヒーより紅茶かどうかな？ → 21世紀現在進むアイルランドでのコーヒーへの移行

？東方的なイメージと「味い言葉で家へ入るように...」の訳語；ブルームは自分にはわからない言葉を想像している？ → 「まるきり違うんだろな。本にはあるけど」→ オリエンタリズムに対するブルームの内省

？モリーのベッドで、ブルームはどこで寝ているのかな？

？デージー→校長のanti-semitismや女性蔑視は本挿話とどのように関わってくるのかな？

？登場人物の身体的情報がよくわからない

？ブルームをユダヤ人として扱っていいのかな？ その情報はどこから判断できるのかな？ Bにはアイルランド原理主義的などころがあるかな？ (p.105) ；jewish, protestant, catholicを越境する存在；他人から規定・定義されるアイデンティティ；カトリックに改宗することで角 / 悪評は立たなかったのかな？

？「ノルウェー人の船長」(p.110) とは？

？『ユリシーズ』には書かれていないことが多くあり、その書かれていないものをどのように読めばいいのかな？

？ミリーの15歳という数字と、15分前という数字の一致には何か意味があるのかな？

？【Jの押韻する文体】猫の描写中の"walk"と"stalk"、BloomやMollyの名前にみる、特定の音素BやMと特定のイメージとのあいだには何か結びつきがあるのかな？

？アイルランドでは、英国と同様シリング、ペンスの単位が用いられていた。→ 1904年当時の日用品の物価は？ 週給でもらっているミリーの賃金やスティーヴンの賃金はどれくらいのもの？

？「焦茶色の擦り切れたスカブラリオが、あの女の前も後ろも守ってるのさ」(p.108) は何を意味しているのかな？ 擦り切れているのは、「女中が労働によって使い尽くされた女であることの比喩」かな？

？Leopold (Pauldy) と Paul de Cock という音の類似はブルームの男性器をイメージしている？

？ボイルンのお金持ちの息 (p.124) と排便後の匂いとの対比はどういう意味をもっている？